

平成26年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 メディアスホールディングス株式会社
 コード番号 3154 URL <http://www.medius.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理統括本部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 池谷 保彦
 (氏名) 野中 治男

TEL 03-3242-3154

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年6月期第1四半期の連結業績(平成25年7月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第1四半期	32,654	0.4	120	△39.6	211	△23.9	135	2.8
25年6月期第1四半期	32,529	10.2	198	—	278	341.7	131	—

(注) 包括利益 26年6月期第1四半期 117百万円 (△16.9%) 25年6月期第1四半期 141百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年6月期第1四半期	46.53	—
25年6月期第1四半期	46.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年6月期第1四半期	44,385	6,520	14.7
25年6月期	40,180	6,462	16.1

(参考) 自己資本 26年6月期第1四半期 6,520百万円 25年6月期 6,462百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年6月期	—	0.00	—	75.00	75.00
26年6月期	—	—	—	—	—
26年6月期(予想)	—	0.00	—	80.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年6月期の連結業績予想(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	68,000	1.4	400	△49.3	570	△40.0	300	△39.7	105.37
通期	142,500	6.3	1,410	3.8	1,750	1.8	950	6.0	333.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 株式会社秋田医科器械店 、 除外 1社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年6月期1Q	3,031,356 株	25年6月期	3,031,356 株
② 期末自己株式数	26年6月期1Q	127,449 株	25年6月期	184,329 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年6月期1Q	2,903,288 株	25年6月期1Q	2,852,748 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日本銀行による金融・経済政策を背景に、企業収益や個人消費が底堅く推移している一方で、米国経済においては、政府債務の上限問題や「財政の崖」問題等の高いハードルに対する懸念等もあり、先行き不透明な状況が続いております。

医療業界におきましては、平成24年度の診療報酬改定による医療機関の経営環境改善の兆しがある一方で、平成26年4月には消費税率の引き上げが予定されており、医療機関の経営に影響を与えることが予想されます。

当社グループが属する医療機器販売業界におきましては、医療材料の償還価格の引き下げによる販売価格の下落や医療機関からの更なる値下げ要求、また病院経営コンサルタント業者の介入による利益率の低下が生じており、医療機器ディーラーを取り巻く経営環境は厳しさを増しております。医療機関からは物品管理、保守管理や業務管理等の役務提供を含めた複合的なサービスの要請が増加しており、医療機器ディーラーは医療機関の経営改善に應えるための各種サービスの提供や、経営の効率化並びにコスト削減に対する施策が不可欠であり、今後は業界再編が加速することが予想されます。

このような経営環境の下、当社グループは「地域医療への貢献」を経営理念に掲げ、取引先医療機関への医療機器・医療材料の提供のみならず、手術室業務支援ソフトウェア「サージレーン」や医療材料データベース・医療材料分析サービス「メッカル」の提案等、医療機関の経営改善に繋がる複合的なサービスの推進、最新の医療情報の提供を通じた高付加価値商品の提案営業に努めました。また、首都圏エリアにおける営業推進体制の強化に引き続き注力し、新規取引先獲得のための企画提案力や競争力の向上に取り組むとともに、平成25年7月に取得した株式会社秋田医科器械店においても、秋田県内の地域医療に貢献するため企画提案型の営業活動を進め、事業領域の拡大に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は32,654百万円(前年同期比0.4%増)、営業利益は120百万円(同39.6%減)、経常利益は211百万円(同23.9%減)、四半期純利益は135百万円(同2.8%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第1四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

①医療機器販売事業

医療機器販売事業では、放射線機器や内視鏡等診断機器の備品販売が好調に推移し、消耗品については、循環器関連商品は償還価格の引き下げによる納入価格の低下の影響がありましたが、その他分野における消耗品は提案型営業の推進効果もあり、新規取引の獲得が進みました。この結果、売上高は31,911百万円(前年同期比0.5%増)となりました。利益面では、放射線機器や内視鏡等診断機器の備品販売において利益が確保できたことに加え、消耗品について償還価格の引き下げによる影響や医療機関からの値下げ要求がありましたが、新規取扱商品の販売増加による利益の獲得や主要仕入先からの購買業務共通化の実施による売上原価の低減もあり、売上総利益は3,090百万円(同3.6%増)となりました。

またセグメント利益(営業利益)は、895百万円(同2.2%増)となりました。

②介護・福祉事業

介護・福祉事業は、個人向け介護・福祉機器の販売及びレンタルが低調に推移したため、売上高は742百万円(前年同期比2.8%減)、売上総利益は308百万円(同2.4%減)となりました。

またセグメント利益(営業利益)は、53百万円(同38.9%減)となりました。

(注)当社グループのセグメントは、次のとおりであります。

医療機器販売事業……(医療機器販売事業)

国内の医療機器メーカー・代理店・商社等より仕入れた医療機器(備品・消耗品)を、国内の病院等医療施設に販売しており、当社グループの基幹となる事業であります。

(医療機器の修理及びメンテナンス事業)

当社グループが病院等医療施設に販売した医療機器の修理及びアフターサービス、病院等医療施設との保守契約に基づく医療機器全般のメンテナンスを行っております。

介護・福祉事業……国内の介護福祉機器メーカー・代理店・商社等より仕入れた介護福祉機器(備品・消耗品)を、国内の病院等医療施設及び一般個人に販売しております。また、介護福祉機器の一般個人へのレンタルを行っております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して10.5%増加し、44,385百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比較して11.4%増加し、37,188百万円となりました。これは主に、現金及び預金が1,494百万円、受取手形及び売掛金が1,039百万円、商品及び製品が942百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して6.1%増加し、7,197百万円となりました。これは主に、無形固定資産が201百万円、投資その他の資産が152百万円それぞれ増加したことによるものであります。

②負債

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比較して12.3%増加し、37,864百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して14.8%増加し、34,227百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が489百万円減少した一方で、短期借入金が5,031百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して6.9%減少し、3,637百万円となりました。これは主に、長期借入金が428百万円減少したことによるものであります。

③純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較してほぼ同額の6,520百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年6月期第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成25年8月14日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間より、新たに株式を取得した、株式会社秋田医科器械店を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,480,682	4,974,857
受取手形及び売掛金	23,865,806	24,905,173
商品及び製品	4,703,725	5,645,900
原材料及び貯蔵品	7,944	7,743
その他	1,350,828	1,668,098
貸倒引当金	△13,372	△13,708
流動資産合計	33,395,614	37,188,065
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	987,735	1,001,513
土地	1,620,849	1,660,324
その他(純額)	261,377	265,673
有形固定資産合計	2,869,962	2,927,512
無形固定資産		
のれん	509,041	716,250
その他	456,263	450,778
無形固定資産合計	965,304	1,167,029
投資その他の資産		
その他	3,016,216	3,168,994
貸倒引当金	△66,166	△66,081
投資その他の資産合計	2,950,050	3,102,912
固定資産合計	6,785,316	7,197,454
資産合計	40,180,931	44,385,519

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,273,856	24,784,000
短期借入金	2,701,776	7,733,336
未払法人税等	466,650	215,019
賞与引当金	—	379,867
その他	1,367,903	1,115,419
流動負債合計	29,810,187	34,227,643
固定負債		
長期借入金	2,906,038	2,477,813
退職給付引当金	580,355	592,585
資産除去債務	15,608	15,661
その他	406,064	551,275
固定負債合計	3,908,066	3,637,334
負債合計	33,718,254	37,864,978
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,018,862	1,018,862
資本剰余金	885,566	965,579
利益剰余金	4,415,281	4,336,850
自己株式	△238,779	△165,272
株主資本合計	6,080,931	6,156,019
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	381,746	364,522
その他の包括利益累計額合計	381,746	364,522
純資産合計	6,462,677	6,520,541
負債純資産合計	40,180,931	44,385,519

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)
売上高	32,529,029	32,654,000
売上原価	29,228,431	29,254,698
売上総利益	3,300,598	3,399,301
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,301,791	1,336,685
従業員賞与	368,187	377,120
退職給付費用	55,678	60,140
法定福利費	240,145	256,714
減価償却費	109,875	80,512
賃借料	232,179	222,598
業務委託費	193,463	230,644
その他	600,462	714,856
販売費及び一般管理費合計	3,101,783	3,279,271
営業利益	198,815	120,030
営業外収益		
受取利息	1,021	906
受取配当金	639	363
仕入割引	85,489	89,189
その他	18,805	23,482
営業外収益合計	105,956	113,942
営業外費用		
支払利息	24,772	21,462
その他	1,634	653
営業外費用合計	26,407	22,115
経常利益	278,364	211,856
特別利益		
固定資産売却益	—	927
投資有価証券売却益	—	44,394
特別利益合計	—	45,321
特別損失		
固定資産除却損	400	1,875
特別損失合計	400	1,875
税金等調整前四半期純利益	277,964	255,302
法人税、住民税及び事業税	251,341	228,172
法人税等調整額	△104,849	△107,965
法人税等合計	146,491	120,207
少数株主損益調整前四半期純利益	131,472	135,095
四半期純利益	131,472	135,095

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	131,472	135,095
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,329	△17,224
その他の包括利益合計	10,329	△17,224
四半期包括利益	141,802	117,871
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	141,802	117,871

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	医療機器 販売事業	介護・福祉事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	31,765,344	763,685	32,529,029	—	32,529,029
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	31,765,344	763,685	32,529,029	—	32,529,029
セグメント利益	876,963	87,343	964,307	△765,492	198,815

(注) 1 セグメント利益の調整額△765,492千円には、のれん償却額△63,755千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△701,736千円が含まれております。全社費用は、主に親会社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	医療機器 販売事業	介護・福祉事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	31,911,674	742,326	32,654,000	—	32,654,000
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	31,911,674	742,326	32,654,000	—	32,654,000
セグメント利益	895,969	53,340	949,310	△829,280	120,030

(注) 1 セグメント利益の調整額△829,280千円には、のれん償却額△78,016千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△751,263千円が含まれております。全社費用は、主に親会社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

株式会社秋田医科器械店の全株式を取得し、連結子会社としたことにより、のれんの金額に重要な変動が生じております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては285,225千円であります。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメントの区分の変更)

当社グループは従来、報告セグメントを「医療機器販売事業」及び「その他の事業」の2区分としていましたが、「その他の事業」を構成している「医療機器の修理及びメンテナンス事業」の業務が「医療機器販売事業」に付帯する要素が年々高まってきたこと、「その他の事業」を構成しているもう一つの「介護・福祉事業」の量的な重要性が増してきたことを踏まえ、「医療機器の修理及びメンテナンス事業」を「医療機器販売事業」に含めることとし、「介護・福祉事業」を単独の報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。